



高梁市長  
近藤 隆則

令和2年の新春を迎え謹んでご挨拶を申し上げます。  
昨年を振り返りますと、吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、日本人による2年連続の受賞となりました。スポーツでは、国内で開催されたラグビーワールドカップで日本代表チームが史上初めてベスト8へ進出するなど、その戦いぶりは日本中を感動の渦に引き込みました。  
一方、昨年一昨年に引き続き全国各地で大規模な災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。被災され、今なお不自由な生活を強いられている皆さまに、心からお見舞い申し上げます。  
本市においては、平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けたことから、昨年3月に「高梁市復

興計画」を策定しました。そして昨年は「復興元年」として、復旧・復興および被災された皆さまの生活再建に向けて全力で取り組んできたところです。災害から3年目となり、国・県との連携を一層密にして、復旧・復興の歩みを直実に進めていきます。  
さて、本年は「庚子」の年で、この年は、新たな芽吹きと繁栄の始まりといわれています。夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本市においても、5月に城下を聖火ランナーが駆け抜けます。今からとても楽しみにしています。  
そして、令和2年度は次期高梁市総合計画策定の年となります。復興・発展に向けた道筋を示す中で、本市が目指す方向を

具現化していくために、さまざまな事業を前進させていく大切な年となります。喫緊の課題としては、消防庁舎高度化建て替えや市街地での認定こども園の開設災害により中断をしていた市道改良事業などです。5Gなど、情報の高度化への対応も必要です。さらにはインバウンドを含む交流人口の増加対策として、6月に開館する成羽複合施設の活用や2年後の旧吹屋小学校校舎保存修理の完成に合わせた交流・回遊に向けた取り組みを進めていかなければなりません。  
新しい年が、市民の皆さまにとりましても、本市にとっても新しい実りの年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 2020年

# 年頭のごあいさつ

高梁市議会議員  
小林 重樹



明けましておめでとうございます。皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、本市の市政運営ならびに議会活動に対しまして皆さまの温かいご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。  
さて、昨年を振り返りますと、全国的には度重なる台風の上陸や大雨といった自然災害に悩まされた年となりました。  
一方、本市は平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けて、その歩みを進めており、平成31年3月に策定された復興計画の着実な実施に向けて、市議会としても被災された皆さまの一日でも早い平穏な日常生活を最優先に、執行部ととも

に、積極的に取り組んでまいりました。  
昨年は新しい時代である令和へと移行し、本年は56年ぶりにオリンピック・パラリンピックが国内で開催されるなど、歴史と記憶に残る年でもあります。  
現在の我が国は、国際情勢の急激な変化、地球規模での環境問題への対応、少子高齢化・人口減少への対策など社会経済が複雑多様化する中で、地域の活力を次代に向けてどう維持していくかが最優先に問われております。本市においては、令和2年度策定予定である新総合計画に、本市のあるべき都市像の達成に向けて、市民の皆さまの声をしっかりと聞き取る中で執行部と議論を重ね、ともに創意

工夫と英知を結集しなければならぬと決意を新たにいたしました。ところでございます。  
折しも、本年は改選の年であり、市長・市議会議員選挙が執行されます。私たち議員の任期も一年を切っておりますが、これまで以上に市民の皆さまの多様な意見を市政に適切に反映させることができますよう議員一人一人が研鑽に努め、資質向上を図ることはもとより、市議会が市民の皆さまに寄り添った、身近な存在であるよう努めてまいりますと存じます。  
本年が市民の皆さまにとりまして平穏で良い年になりますよう祈念いたします。年頭のご挨拶といたします。

写真：弥高山からの初日の出(1月1日)